

『実践×理論で考える 組織マネジメントの連載(全4回)』に
めぐみこども園の内容が特集されました❀(中)



2026年(令和8年)1月5日(月曜日)

(6)

幼稚園・保育園

実践×理論で考える
組織マネジメント

18



中戸 華恵

めぐみこども園園長

㊦

リーダー制廃止し「チームづくり」

めぐみこども園では視点が変わりました。「対話」を大切にしています。3歳児以上の子どもたちは毎日昼にサークルタイムを行っています。午後は一人一人が語り、みんなが話を受け止めてくれるという安心感もあり、そうした関係性をつくるのが大事だと感じています。より保育者たちが語り、取り組んでいる遊びなどを共有するミーティングを実施しています。その中で、保育者は所属するクラスや働き方の多様さも関係なく「みんなで子どもたちを育てる」という意識をもちました。保育者も、若手がリーダーとして、子どもたちを育てるという役割を担っています。もちろん、保護者や地域の方にも通じる場所があり、声掛けやすく、保育者が語る姿も見やすい環境になっています。そこで、昨年度から3歳以上児の各クラスでリーダー制を廃止しました。行事の内容や日々の保育に関することは現場の保育者が責任と自覚を持ち、一人一人の良さを生かすという考えです。したが、本年度から「子どもと一緒に楽しむ」という意識をもち、現場の保育者が責任と自覚を持ち、一人一人の良さを生かすという考えです。したが、本年度から「子どもと一緒に楽しむ」という意識をもち、現場の保育者が責任と自覚を持ち、一人一人の良さを生かすという考えです。

この分散型リーダーは、保育者同士の対話と情報共有、連携がなれ、それぞれの良さを生かす。導入するときに、新しい世界に気が付くように意識しながら工夫しています。